

平成19年度当初予算のポイント

1 予算規模

(単位：千円、%)

区分	18年度当初予算	19年度当初予算	増減額	伸び率
一般会計	6,864,000	6,973,800	109,800	1.6
港湾整備事業特別会計	4,515,200	3,962,900	552,300	12.2
合計	11,379,200	10,936,700	442,500	3.9

2 予算編成方針

厳しい財政状況のなか、歳出面の徹底した見直し、節減に努めるとともに、「地域に貢献する、なくてはならない存在としての港湾」をめざす次期「四日市港政策推進プラン」(現在策定中)の実現に向けて必要な経費に財源を配分するとの方針により、平成19年度当初予算を編成しました。

3 予算の概要

(1) 一般会計

平成19年度一般会計予算については、累増する起債残高を抑制するための公共事業の圧縮や一般管理経費の縮減につとめましたが、公債費・人件費の増の影響により、平成18年度当初予算と比べると、1.6%の増となっています。

(2) 特別会計

特別会計については、霞ヶ浦北ふ頭土地造成事業の減(16億円 12億円：4億円)により、12.2%の減となっています。

4 主たる事業の概要

(1) 港湾基盤の充実強化

スーパー中枢港湾としての港づくりを推進するため、霞ヶ浦北ふ頭80号岸壁背後用地の整備(12億円)、霞4号幹線の整備(国直轄事業負担金14億8,000万円)などに引き続き取り組みます。また、新たに、霞ヶ浦北ふ頭81号コンテナターミナルに関する基礎調査(2,100万円/～で3,000万円)に着手します。

(2) 災害対策の推進

津波対策として、18年度から着手している稲葉水門の遠隔操作化の完成（1億円）や、護岸の補強を進めるなど、県民・市民の安全・安心を支えるための取組を進めます。

(3) その他

平成30年代前半を目標年次とした港湾計画の改訂（平成21年度）に向け、長期構想検討委員会を立ち上げ、関連諸調査を実施します。

5 新規事業等

(1) (新) 霞ヶ浦北ふ頭 8 1 号岸壁基礎調査費 21,000 千円 (特別会計)

< ~ 年度で30,000千円 >

霞ヶ浦北ふ頭 8 1 号コンテナターミナルの整備について、貨物取扱量見込み、整備期間・概算事業費、建設費縮減方策の可能性、整備効果（経済効果、投資効果）に関する調査を実施します。

(2) 四日市港港湾計画調査費 63,000 千円 (一般会計)

平成30年代前半を目標年次とした港湾計画の改訂（平成21年度）に向け、長期構想調査委員会の立ち上げや関連諸調査（自然条件調査、環境調査等）を実施します。

6 政策推進プランの実現に向けて

（別紙「四日市港政策推進プラン（2007～2010）にかかる平成19年度当初予算主要事業一覧」参照）